

Butsuryo Shinbun

No.06

発行所：大阪物療大学
発行者：田中博司
発行年月：平成26年1月1日
編集：広報委員会
※無断転載を禁じます

〒593-8324
大阪府堺市西区鳳東町4-410-5
TEL.072-260-0095

診療放射線技師の
オンリーワン大学を目指す



《建学の精神》
之科學為報國修

<http://www.butsuryo.ac.jp/>

学長挨拶（新年にあたって）



大阪物療大学 学長
田中 博司

あけましておめでとうございます。

学長の田中博司です。2020年に再び東京での開催が決定し、うきうきの新年を迎えています。1964年10月に東京で最初のオリンピックが開催された時には名神高速道路や東海道新幹線の開通等、目を見張る勢いで日本国が発展していきました。高度成長時代から“バブル”へと一気に進んだ国が2011年3月に天災による人災によって失速しております。

今の日本を救う道は教育(幼稚園～大学)の再構築が必要不可欠であります。また医療もしかり……。

その一環をになう本学の使命はいかばかりか「健学の精神」にのっとって今一度初心にもどり、各個人がそれぞれの道で洗煉されることを望みます。

CONTENTS

■ 学長挨拶（新年にあたって）	2	■ 就職ガイダンス	6
■ 市民公開講座	3	■ 物療祭	7
■ 育友会	3	■ 職員紹介	7
■ オープンキャンパス	4	■ 入試概要	8
■ アセアン民間大使来学	4	■ 第一種放射線取扱主任者試験 合格!!	8
■ 秋期スポーツフェスティバル	5	■ スケジュール	
■ 近畿地区診療放射線技師 教育施設学生体育大会	5	—スプリングキャンパス案内—	8
■ 臨床実習	6		

市民公開講座 (後援:堺市)

～自分の身体は自分で守りましょう～

【第5回】 平成25年6月8日(土)
肺がん検診を受けましょう

【第6回】 平成25年10月20日(日)
大腸がん検診を受けましょう

平成25年6月8日(土)・10月20日(日)、本学4号館アリーナ(講堂)において、堺市後援による、第5回・第6回市民公開講座を開催しました。

『自分の身体は自分で守りましょう』をテーマに、第5回では肺がん、第6回では大腸がんの病気を取り上げ、病気の説明や検診方法、そして検診の重要性を内容とする講演を本学教員である橋本勉教授、山口功教授が行いました。ご参加いただいた方々は、講演に真剣に耳を傾け、多数のご質問もいただきました。また、各講演の間には高井逸史准教授と学生による簡単な健康体操が行われ、和やかな雰囲気の中、楽しい時間を過ごすことができました。

今回の公開講座が、堺市の皆様のお役にたてるようお祈りしつつ、ご参加いただいた多くの方々に深くお礼申し上げます。



育友会

育友会とは

大阪物療大学の教育方針に則り、大学と保護者との連絡を密にし、教育事業を援助し、併せて親睦を図ることを目的として、平成23年6月に発足されました。

大阪物療大学育友会第3回定時総会が、平成25年6月8日(土)に大阪物療大学4号館にて開催されました。

平成24年度事業報告、決算報告、監査報告が行われ、続いて平成25年度役員(案)、事業計画(案)、予算(案)について審議の結果、承認されました。

総会終了後には、保護者と教員による集いが開催され、保護者からの質問や疑問等に、学長、事務局長、学科長が応答し、話し合いを通して交流が深まり、大変有意義な時間となりました。

また、平成25年11月2日(土)の物療祭では、育友会も初参加し、フリーマーケットを出店しました。保護者、教職員からは商品の寄付にご協力いただき、本学らしい雰囲気を味わい



ながら盛況のうちに終わることができました。皆様のご協力に感謝致します。その後は、保護者と教員で和やかに親睦会が開催されました。

育友会の活動は、その支援(育友会の活動は、実習用計測器の寄付、図書寄贈、就職情報検索性パソコンの設置等)を通じて、学生1人1人に目を向け、教職員が一丸となってより充実した教育を行うために活かされています。

育友会では、今後もさらに学生が充実した学生生活を送り、よりレベルの高い大学教育が受けられるよう、保護者、大学教職員一同力を合わせて精進して参ります。



▲物療祭 フリーマーケット

オープンキャンパス



本学ではオープンキャンパスにご参加いただけなかった方も、教員が個別に施設案内や相談をさせていただく「フリーキャンパス」制度を実施していますので、本学ホームページかお電話にてお申し込みください。お待ちしております。

5月19日 (SUN) 6月16日 (SUN) 7月21日 (SUN) 8月25日 (SUN) 9月22日 (SUN)

今年度のオープンキャンパスは、5月19日(日)、6月16日(日)、7月21日(日)、8月25日(日)、9月22日(日)の日程で開催しました。イベントの中でも最先端の医療機器や本学の研究・実習を体験していただく実習体験ブースでは、参加者の方々に、毎回好評をいただきました。その他にも、本学をご理解いただく為のミニ講義や大学説明会、学生スタッフによる施設案内ツアー、在学生との団らん会、女子限定の女子カフェ、保護者の皆様との相談会など盛りだくさんの内容に、何回も足を運んでくださる参加者もいらっしゃいました。また、8月と9月のオープンキャンパスでは、有名予備校講師による入試対策講座に加え、本学軟式野球部、ハンドボール部による焼きそばとフランクフルトの屋台やおにぎり、サンドウィッチなどの軽食があり、頭もおなかもいっぱいになった参加者からは、「また来たい」とのお声を多数いただきました。



▲女子カフェブース



▲在学生との歓談



▲実体験ブース

アセアン民間大使来学

平成25年10月28日(月)、堺市で開催された教育文化事業「堺・アセアンウィーク2013」(10月28日～11月10日)に参加した東南アジア諸国連合(アセアン)加盟国の大学生が本学を訪れ、文化交流を行いました。

来学したのは、カンボジア王国、インドネシア共和国、フィリピン共和国、タイ王国、ベトナム社会主義共和国の代表合計15名。

「民間大使」として来日した各国大学生は、本学の一年生にそれぞれの国の挨拶や歌を紹介し、本学学生も日本の歌を披露するなどお互いの文化に対する理解を深めました。民間大使は、堺市内の小中学校で自国の文化・歴史・社会の紹介を日本語で紹介する活動を行い、今後日本と東南アジアとの懸け橋になる人材として期待されています。

交流活動に参加した民間大使の一人は、「同じくらいの年齢の大学生と交流できてとても楽しかった」と感想を述べ、本学の学生からは、「外国人の方と触れ合うことはあまりないので、素晴らしい機会だった」との声が多く聞かれました。

このような国境を越えた交流は、世界の諸文化を理解し地球規模の思考が求められるグローバル時代にお

いて大きな意味を持っています。医療人として社会に貢献することを目指す本学学生にとっても、貴重な体験を得ることができました。



秋期スポーツフェスティバル

平成25年10月1日(火)、大阪府立臨海スポーツセンターにて、学生自治会(療友会)主催による秋期スポーツフェスティバルを開催しました。

学年別にチームが編成され、トーナメント方式によるバレーボールとバスケットボールの2種目が行われました。試合中にミスがあってもお互いに声を掛け合い、声援する学生もチーム一丸となって全力を尽くし楽しんでいました。白熱した試合展開に大いに盛り上がり、バレーボールはFチーム(3年次生)が、バスケットボールはEチーム(2年次生)が優勝しました。

午後は、9日に行われる「近畿地区診療放射線技師教育施設学生体育大会」の競技練習のため、臨海スポーツセンターに加え、高師浜運動場・テニス場に別れて練習を行いました。



習を行いました。

10月とは思えないような強い日差しの中、熱中症に注意しながら一生懸命打ち込み、練習時間ぎりぎりまで汗を流しました。1年次生と2年次生で構成したチームでの初めての練習でしたが、それぞれの種目で参加者全員が協力し、優勝目指す意気込みが感じられました。

近畿地区診療放射線技師教育施設学生体育大会



平成25年10月9日(水)の朝方、台風24号の日本海通過により風雨で荒れましたが、急速に天候が回復し、兵庫県西宮市の大阪ガス今津総合グラウンドにおいて、近畿地区

診療放射線技師教育施設学生体育大会が無事に開催されました。

本大会は、近畿地区の診療放射線技師教育施設の学生が一堂に会して行われ、今年度54回目を迎えた歴史ある体育大会です。大会には、大阪物療大学、京都医療科学大学、大阪行岡医療専門学校長柄校、神戸総合医療専門学校、清恵会第二医療専門学院の5校が参加し、気温30℃の汗ばむ陽気の中、中止となったソフトボールを除く8種目の競技で力戦奮闘する熱戦が繰り広げられました。

大阪物療大学開学3年目となる本大会で、選手皆が母校の総合優勝を勝ち取るため、懸命にそして正々堂々と競技に臨みました。硬式テニスは圧勝、バドミントンは接戦の末の勝利とそれぞれ種目優勝、その他全ての種目においても準優勝し、6種目の競技が終わった時点で総合順位トップに立ちました。勝敗は勝ち点

が倍となる残りの2種目、綱引きと学校対抗リレーの行方に託されました。

本学の学生教職員は、選手の大健闘に惜しめない声援を送り、僅差で総合優勝を逃した昨年度の大会の雪辱を果たすべく、皆が一丸となって綱引きと学校対抗リレーに挑みました。その結果、大阪物療大学は綱引きで優勝、学校対抗リレーで3位となり、見事に総合優勝を勝ち取りました。



1年次生集合写真



2年次生集合写真

臨床実習

実習感想



3年次生
吉松 彩花さん

国立病院機構 大阪医療センターは診療放射線技師の道に進もうと決めたときから一度は行ってみたいと感じていた憧れの病院でした。そのため、臨床実習先が大阪医療センターに決まった時、本当に夢のようでした。

臨床実習中は、私の些細な疑問にも親身に答えていただいたり、私に質問もしてくださり、毎日知識が増えました。また、実習前と比べ実習中及び実習後は自分にとって新しいことを学びたいと感じる毎日になるとともに、早く技師になりたいという気持ちが一段と高まりました。そして憧れの病院で患者さんへの優しい対応や、体の中をきちんと写すことができる撮影技術などを学ぶことができ、目標にしたい診療放射線技師の先輩にも出会えました。

今後は本実習で学んだことを糧に、私の目標とする診療放射線技師に少しでも近づくためによりいっそう努力していきたいと思います。



3年次生
則本 晃佑さん

臨床実習で私は、京都大学医学部附属病院(京大病院)に行かせて頂きました。

今回、私が京大病院に持っていたイメージがガラッと変わりました。

そのイメージとは、大学病院であるから非常に業務が忙しく、質問ができないと思っていましたが、実際には忙しい合間に質問の時間を作って頂き、検査の使用機器を細かく説明して頂きました。

さらに学校で学びにくい患者さんとの接遇を経験することにより、医療人として必要なスキルを身につける事が出来ました。

実習を通して、私は患者さんの状態に合わせて、負担を軽減できるような技師になりたいと思いました。

平成 25 年度 臨床実習 I 終了報告会

9月10日(火)、10月10日(木)・24日(木)・30日(水)に、臨床実習 I 終了報告会が行われました。

臨床実習 I は、大阪物療大学が開学して3年目、3年次生による初めての臨床実習です。8月20日～9月9日、9月10日～10月2日の期間に、国公立病院を含めた36施設で、15日間の臨床実習が行われました。

報告会では、疼痛のある患者さんへのクッションを使った胸腹部正面の撮影技術や、車椅子の受診者を医療スタッフが丁寧にサポートする接遇、また、耳の不自由な受診者との筆談や会話カードによる対応の習得など、臨床の現場で具体的に得られた成果が報告されました。

今回の報告会で学生たちが共有した様々な知識や、多くの経験は、次の臨床実習 II 及び III に繋がるものと期待されます。



就職ガイダンス

平成 25 年 10 月 24 日(木)、31 日(木)の両日、3 年次生を対象に第 1 回、第 2 回就職ガイダンスを開催しました。第 1 回のガイダンスは、「就職活動を始める前に」「卒業後の進路選択について」と題して、本学教員の小水学科長よりお話がありました。医療人を目指す学生にとって医療施設は身近なものですが、施設の規模や機能、施設による業務内容の違い等についてガイダンスを受講し、改めて就職を意識し始めたようでした。

第 2 回のガイダンスは、「医療現場に求められる放射線技師像とは」をテーマに、奈良県放射線技師会会長の高嶋先生を講師に迎え、「診療放射線技師の役割」「医療人・社会人として求められること」について、ご講演いただきました。また、本学教員の宇都教授からは、43 年間の臨床経験を踏まえ、現場に求められる技師像や、今後の就職活動についてのお話があ

りました。

4 月に最終学年へと進級する学生にとっては自身の今後を考える貴重な時間となりました。今春から始まる就職活動には強い気持ちで臨んでもらいたと思います。



物療祭



「第2回物療祭」を、平成25年11月1日(金)、2日(土)の2日間に渡って開催しました。

今年のテーマは「Pleasure」。物療祭を皆で盛り上げ、助け合いながら楽しい2日間にしてほしいという気持ちがこめられました。

メイン会場となるアリーナでは、1日目には学内のクラブ「SOEC」による英語でのコンサートを始め、カラオケや仮装大会が催され、2日目には外部のダンスグループ「RURUTIA」の皆さんによるタヒチアンダンス、学生によるバンド演奏やビンゴ大会等、様々なイベントが繰り広げられ、大いに盛り上がりました。

今回初めて行われた「臨床実習発表会」では、3週間の臨床実習を終えた3年次生が、見学や実習等の内容についてプレゼンテーション発表を行いました。1、2年次生は、臨床実習を終えて一回り大きく成長した3年次生の姿を、数年後の自身の姿に重ね合わせ、発表に真剣に聞き入り、積極的に質問していました。

今年は、各クラブや大学教職員による模擬店の他にも、1年次生有志が毎日遅くまで準備に取り組み完成させた「お化け屋敷」、育友会によるフリーマーケット、教員によるレントゲン資料館たる「レントゲン博士の研究室」と、様々な企画が行われ、多彩な物療祭となりました。

学生自治会、物療祭実行委員の企画運営に加え、多くの方のご参加により、今年の物療祭テーマ「pleasure」通り、楽しく笑顔になる大学祭となりました。



▲臨床実習発表会



▲仮装コンテスト

職員紹介

大阪物療大学で働く事務職員を紹介します。力を合わせて、学生生活をサポートいたします。

本部(3号館)職員



事業運営部門
就職・渉外部門

1号館 職員



学術情報部門
就職グループ

4号館 職員



学生支援部門

大阪物療大学保健医療学部 平成26年度推薦入試実施概要

試験実施日 前期日程：平成 25 年 11 月 10 日(日) 後期日程：平成 25 年 12 月 8 日(日)

志願・入学 手続状況	選抜区分	募集 定員 (A)	志願者数		受験者数		合格者数		志願倍率	受験倍率	合格倍率
			総数 (B)	現役数 女子数	総数 (C)	現役数 女子数	総数 (D)	現役数 女子数	(B/A)	(C/A)	(C/D)
			推薦 入試	前期日程	30	81	79	77	40	40	2.70
	後期日程	10	39	39	36	6	6	3.90	3.90	6.50	
	計	40	120	118	113	46	46	3.00	2.95	2.57	

推薦入試合格者の 筆記試験成績 (基礎学力検査)	入試区分	推薦(前期)			推薦(後期)		
		最高点	最低点	平均点	最高点	最低点	平均点
		基礎学力検査(100点)	93	64	78.7	93	78

※筆記試験(基礎学力検査)・調査書・面接試験の総合評価により合否を決定。
※面接・調査書評価は非公開。

平成26年度入試概要

平成26年度の入試は推薦入試と社会人入試が終了し、2回の一般入試を残すのみとなりました。診療放射線技師や医療系を目指す方に本学の受験を薦めていただくようお願いいたします。

- ① 募集学部／学科
保健医療学部／診療放射線技術学科
- ② 定員——— 80名(男・女)
- ③ 修業年限——— 4年
※卒業と同時に診療放射線技師国家試験の受験資格が得られます。
- ④ 募集人員
- ⑤ 入試日程・選抜方法等(平成25年11月～平成26年3月)

選考区分	試験日	募集人員	出願期間 (郵送必着)	合格発表	手続期間	試験場
一般入試	前期日程	30	1/6(月)～1/17(金)	1/28(火)	2/17(月)	本学 4号館
	後期日程	8	2/24(月)～3/13(木)	3/18(火)	3/24(月)	

詳細、お問い合わせは、
就職渉外部門・入試グループまで
TEL：072-260-0096
E-mail：nyushi@butsuryo.ac.jp

選考区分	推薦入試	一般入試	社会人入試
募集人員	終了	38名	終了

第一種放射線取扱主任者試験 合格!!

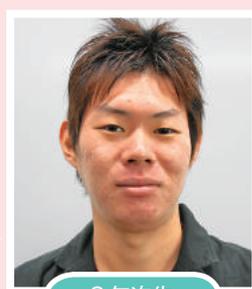


3年次生
北澤 絹子

文部科学大臣が与える国家資格である、第1種放射線取扱主任者試験に、本学2名が見事合格しました。おめでとうございます!!

4月から頑張っていたので、合格できてうれしかったです。

先生たちにいろいろ教わったことで、合格できました。



2年次生
川端 大輝

スプリングキャンパス案内

Spring
CAMPUS

2014
3/23
(SUN)

スプリングキャンパスを開催いたします。
詳細は、3月上旬頃に本学ホームページにて
皆様にお届けする予定です。
たくさんのご参加をお待ちしております。